



《将来に向けた取組方針》

三井化学グループは、気候変動・廃棄物埋立・海洋へのごみ流出・環境汚染等の影響による生物多様性の損失を防ぐため、ステークホルダーの皆様と共に次の取組を行い、「環境と調和した循環型社会」の実現を目指します。(1) 事業活動の低炭素化による気候変動の緩和、(2) リサイクル技術開発等による資源循環の推進、(3) バリューチェーンとの協働によるプラスチックごみの低減、(4) サプライチェーンを通じた化学物質管理による環境への負影響の低減、(5) 生物の生活圏を守る製品の開発、(6) 啓発による従業員の社会活動参加

〈具体的取組〉

① 当社グループ拠点周辺の生態系調査

2017年度に調査を実施し、各生産拠点から半径3km以内に自然保護地域（世界自然遺産、IUCNカテゴリーI、II、III、ラムサール条約湿地）がないことを確認しました。

② 大牟田工場の保全活動

三井化学大牟田工場（福岡県）は、その広大な敷地に東京ドーム1.2倍の保存樹林を持ち、持続性ある保全活動に取り組んでいます。自然環境の保全を重要な課題の一つと位置づける大牟田市からの要請により、敷地内の樹木森林の自然環境調査に協力しました。結果、希少植物・生物などが生息していることが判明しました。



大牟田工場の保存樹林

③ 「Clean-up Caravan」

2019年4月から国内全事業所だけでなく、海外の統括会社にも清掃活動を広げています。これまでに延べ17,028人が参加し、累計のゴミ重量は133,921kgになりました。



19年度 シンガポール地区6社合同



22年度 奄美大島

④ 製品・サービスを通じた貢献

海水淡水化により排出される濃縮水が珊瑚を死滅させるという新たな社会課題に着目し、「濃縮水に含まれるミネラルを主原料にした製品開発を」という社員のアイデアから新規複合材 NAGORI™が生まれました。



2018年度グッドデザイン賞ベスト100にも選出されたNAGORI™製のタンブラー

〈今後の課題〉

水リスク、各種環境評価の調査を進めながら、TNFDのフレームワークに沿って評価し開示を進めていきます。

〈社会に向けたメッセージ〉

ステークホルダーの皆様と共に「環境と調和した循環型社会」を目指します。